

日本の行政事例を英語で紹介 ～マレーシア・クアラルンプール市との交流事業～

1 職員のスキルも高まる、交流事業

CLAIR シンガポールでは、ASEAN 各国との相互交流事業として、大学等において、日本の行政事例や制度を英語で紹介しています。職員が自らテーマを考え、プレゼン内容について勉強し、Q&A セッションも含めて通訳を介さず全て英語で行っています。



プレゼンの様子

2 クアラルンプール市との連携によるセミナー

今回はクアラルンプール市の職員研修機関でプレゼンテーションを行いました。テーマは同市の要望とも調整しながら以下のとおりとなりました。

(1) 生活保護制度と自治体職員の役割

(2) 住民参加による環境保護の取組について

(3) 住民参加による意思決定：札幌市の事例研究

(4) 官民連携～PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の事例～

(5) 日本の地方自治体によるスポーツ推進～長崎県の事例紹介～

講義に加えグループディスカッションも行いました。



グループディスカッションの様子

3 ニーズの把握とコミュニケーション -現場 の声の重要性！-

ASEAN 諸国は今何を求めているのか。そのニーズに応えるためには、日本の事例をどのように伝えれば、彼らに届くのか。今回のKL市との交流事業では、実際の職員と話すことができ、彼らの求めるものを直接聞くチャンスでもありました。ニーズの把握には、当然ですが、



熱心に講義を聞く KL 市職員

直接会って、見て、話して、感じるが一番です！ 直接コミュニケーションをとることで得られる情報は、やはり、ネットやメールでは得ることが出来ない何よりも大切な宝物ですね。プレゼンをして勉強になるのはいつも我々です！！

(石井所長補佐 東京都大田区派遣)



研修に参加したKL市職員とCLAIRスタッフ